

# みづき会における社会貢献活動

## ひとしづく活動計画

この活動を実施するうえの心構え  
「ハチドリのひとしづく」

森が燃えていました  
森の生き物たちは、われ先に逃げていました  
でもクリキンディという名のハチドリだけは  
いったりきたり  
くちばしで水のしづくを  
一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます  
動物たちがそれを見て  
「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑っています  
クリキンディはこう答えました  
「私は、私にできることをしているだけ」

辻 信一著「ハチドリのひとしづく」より

- [活動その1 「リスパダーラー」](#)
- [活動その2 「あの森であいましょう」](#)
- [活動その3 「下を向いて歩こう」](#)

### <目的>

近隣地域に在住する障害児者の方々の障害種別等を問わず、その方々の日常生活における悩みや不安などの相談、余暇活動などを支援する活動を通して個別に必要とされる福祉サービスへつなげる役割を果たすとともに新たな人間関係構築のきっかけとし、個々の生きがい創りに貢献することを目的とする。

### <対象者>

木更津市内を中心に近隣に在住する障害当事者ならびにあらゆる福祉サービスに関係する専門スタッフ。またこの活動に興味をもつ人たち。

## <実施にかかる費用>

基本的にみづき会が負担する。

なお、活動内容によっては参加者に実費負担をお願いする場合がありますが、1,000円程度を限度とする。

## <参加までの手続き>

### 【外部参加者】

- ・参加希望者は、あらかじめ登録者名簿を作成し管理する。
- ・登録者には年間活動予定表、月間予定表を個別に送付し実施日時等を周知するとともに参加申し込みを受け付ける。
- ・登録者は随時募集する。

### 【みづき会内】

- ・あらかじめ年間計画の中に毎回の活動ごとに3施設より担当職員を明確にし、詳細な実施計画及び実施記録を管理する。
- ・みづき会利用者および職員の参加については実施計画毎に選出する。

## <活動の考え方>

これまで数年間みづき会が実施している3つのボランティア活動を統合してひとつの社会貢献活動と位置付け統括的に実施する。

### 活動その1 「リスパダーラー」

地域の障害当事者、福祉サービス事業所や病院等に関わるスタッフとその家族、友人を対象に毎月1回（日曜日）登山やハイキング、デイキャンプ、音楽ライブなどを実施する。29年度より新たな登録者にも参加を呼びかけながら実施する。ただし、安全を確保するために登山に関しては定員を設定する。

体力って健康の源。

どんな人でも、どんな病気でも、どんな障害でも、毎日自宅にひきこもってばかりでは誰だって生きることに行き詰ります。

時には太陽の下で、誰かと話したり、ともに汗を流したり、風に吹かれてみるだけで「食べること」「眠ること」の意味も変わるものです。もしかしたら前向きな気持ちも湧いてくるかもしれません。

### 活動その2 「あの森であいましょう」

みづき会において就労している障害当事者や就労訓練をしている障害当事者を中心にともに働く他のスタッフを交えた懇談会を月に2回程度実施する。2

9年度より登録者にも参加を呼びかけながらともに実施する。

何か話したい、誰かに聞いてほしい。

相談事業所への相談もいいけど、業務としての相談相手のほかに地域で共に暮らす人同士が互いに何でも相談し合える関係も大切にしたい。仕事のこと、恋愛のこと、家族のこと、病気のこと、将来のこと・・・。

その不安に対し、深刻にならずに真剣に、解決ではなく解消に、苦労してよかった、それで順調！ みづき会に集う、そんな仲間たちと過ごす時間…

### 活動その3 「下を向いて歩こう」

月に2回午前中だけ、10名程度のみづき会利用者と職員でみづき会周辺の道路の環境美化活動を実施する。伊豆島街道を花の道にしよう。29年度より登録者にも参加を呼びかけながらともに実施する。

身の周りが整うと心も整う気がする

部屋の片づけが苦手な人でも洗濯が面倒な人でも、みんなで落ちているゴミを拾うことならできそうな気がする。すると少しずつ自分たちが暮らす町がきれいになり、人々がみなやさしい気持ちになってゆく気がする。